

大館市教育委員会会議録

日 時 令和 6 年 4 月 2 4 日 (水)
午後 3 時 3 0 分
場 所 大館市立長木公民館
第 1, 2 研修室

大 館 市 教 育 委 員 会

大館市教育委員会会議録

1	開会の日時	日 時	令和6年4月24日（水）		午後3時30分
	及び場所	場 所	大館市立長木公民館		第1，2研修室
2 出席委員の氏名					
教育長職務代理人		山 田 和 人		委 員	工 藤 啓 子
委 員		根 田 穂美子		委 員	小笠原 正 卓
3 欠席委員の氏名					
4 委員以外の出席者職氏名		(なし)			
5 出席した職員の職氏名					
教 育 長		高 橋 善 之		学校教育課長補佐	工 藤 貴 胤
教 育 次 長		成 田 浩 司		学校教育課長補佐	柴 田 賢
教 育 監		長 岐 公 二		生涯学習課長補佐	羽 沢 秀 則
教育総務課長		北 林 香 子		中央公民館長	外 館 志
学校教育課長		鈴 木 明		歴史文化課長補佐	篠 村 朋 子
教育研究所長		米 澤 貴 子		教育総務課総務係長	柳 谷 真 希
生涯学習課長		畠 山 慶 子			
歴史文化課長		関 智 仁			
教育総務課長補佐		宮 崎 史 人			
6 会議録署名委員 教育長・根田委員					
7 会 議 書 記 教育総務課 総務係長 柳谷 真希					
8 教育長報告					
(1)		令和5年度の教育委員会ホームページのアクセス件数について			
(2)		小・中学校における改修工事・修繕等の実施状況について			
(3)		南種子町青少年交流事業について			
(4)		中学生海外研修（in New Zealand）について			
(5)		令和6年度大館市立小・中学校の概要について			
(6)		令和6年度大館市の小・中学校教育の指針について			
(7)		学校運営協議会委員の委嘱について			
(8)		大館市立学校医・学校薬剤師の任命について			
(9)		大館市社会教育委員の委嘱について			
(10)		大館市少年相談センター運営協議会委員の委嘱について			
(11)		「NHKのど自慢」の開催について			
9 議 事					
協議第21号		令和6年度6月補正歳出予算要求の概要について			
10 その他					
(報告)		政策協議について			
次回 5月24日（金）長木公民館 第1，2研修室					

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年4月24日

担当課（教育総務課）

報 告 事 項	報 告 内 容
（１）令和５年度の教育委員会ホームページのアクセス件数について	【アクセス件数】 6, 0 2 8 件 【教育委員会施策の情報発信の強化】 ・ ホームページや新聞等を活用して、ふるさとキャリア教育の理念と実践を市民に周知するとともに、魅力ある情報を全国に発信し内容の充実を図る。 ・ 各会議議事録、教育委員会点検・評価を公表し、各課の施策や取り組みに理解を得る。 ・ 定例記者会見や広報紙、報道機関への情報提供などを積極的に活用する。
（２）小・中学校における改修工事・修繕等の実施状況について	児童生徒の安全と教育環境の充実を図るため、令和５年度に実施した各種改修工事と修繕の実施状況は、次のとおりです。 小中学校２５校のうち約９割にあたる２２校が建築年数２５年を経過し、その中でも７校は５０年を超えている現状において、緊急性の高い破損や設備の故障から優先的に実施しました。 また、学校のトイレ洋式化工事については、令和４年度の国の第２次補正予算を活用して事業を前倒しし、令和５年度に繰越しして、小学校２校と中学校１校の工事を完成させました。 令和６年度は、山瀬小学校の屋根葺き替え工事を実施するほか、小学校２校と中学校１校の学校照明のLED化工事を実施する予定です。さらには、小学校７校と中学校２校に特別防犯対策事業として、防犯カメラや来客報知システムを設置する予定です。 学校やＰＴＡ等からいただいた改修等の要望は、可能な限り対応しているものの多くが解消には至らずご不便をお掛けしていますが、引き続き早期解消に努めてまいります。

担当課（学校教育課）

報 告 事 項	報 告 内 容
（３）南種子町青少年交流事業について	３月２６日から２９日の日程で、友好交流都市である南種子町の児童生徒１６人が本市を訪問し、本年１月に南種子町を訪問した児童交流団員ときりたんぼ作りやプレゼント交換を通じて交流を深めたほか、秋田犬とのふれあいや曲げわっぱ作り、初めての雪とスキーなどを体験しました。 後日、南種子町から「本市の文化や風土・自然に触れた体験と心温まるおもてなしは、子どもたちにとっていつまでも忘れることのない貴重な思い出となりました。」との内容のお礼状をいただきました。



表敬訪問（大館市役所）



スキー体験（秋田八幡平スキー場）



秋田犬の歴史（秋田犬会館）



きりたんぼ作り（陽気な母さんの店）

報 告 事 項	報 告 内 容
（４）中学生海外研修（in New Zealand）について	３月２２日から２９日の日程で、広い視野と国際感覚を備えた人材育成を目的とした中学生海外研修を実施しました。 １ 主な研修内容 ・事前学習会の実施（６回） 昨年度参加した先輩から体験談を聞いたり、ＡＬＴと英会話の練習を行いました。また、現地で披露する日本の文化、和を伝えるダンスや寸劇などの練習を行いました。 ・ハウタップスクール訪問 ハウタップスクールでは、マオリ族に伝わる伝統的なダンスや歌で盛大な歓迎を受け、研修生は、よさこいソーランの演舞や英語劇「桃太郎」を披露しました。よさこいソーランは、現地の小学生も一緒に踊るなど大いに盛り上がり、事前に準備していた折り紙や紙相撲、名前の漢字変換サービスなども好評でした。 ・現地の生活を体感したファームステイ ファームステイは、２～３名程度のグループに分かれて３泊４日の日程で行いました。それぞれの家庭で飼育する牛や羊などの世話をしたり、家族と一緒に街へ出かけたりするなど、ニュージーランドの生活を体感する貴重な体験となりました。 【参加者】 中学２年生１６名、引率教諭２名



事前学習会



ハウタップスクール

(5) 令和6年度 大館市立小・中学校の概要（4月1日現在）

学校教育課

1 学校数について

小学校17校、中学校8校

2 児童生徒数・学級数について（前年比 △名）

- (1) 小学校 ＊複式学年 花岡小（2・3年、4・5年）矢立小（2・3年、5・6年）
東館小（2・3年、4・5年）早口小（1・2年）

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特支学級等	合 計
学級数	20	19	20	21	19	22	30	151
児童数	364	393	384	393	408	439	(75)	2,318

- (2) 中学校 ＊国際情報学院中学校合格者46名

	1学年	2学年	3学年	特別支援学級	合 計	参考	5年度
学級数	17	17	18	16	68	小学校	2,511名 (△193)
生徒数	421	436	455	(31)	1,312	中学校	1,396名 (△84)

3 教職員定数について

	校長	教頭	教諭	養護 教諭	事務 職員	栄養 職員	合計	前年度比較
小学校	17	17	181.5	17	18	3	253.5	257 (△4)
中学校	8	8	115	9	9	2	151	153 (△2)
合 計	25	25	296.5	26	27	5	404.5	410 (△6)

4 教職員等の加配について

- (1) 指導方法工夫改善に関する加配：小学校7校 中学校5校
- (2) 養護教諭加配：第一中1名
- (3) 栄養職員加配：釈迦内小1名
- (4) 生徒支援加配：第一中1名、東中1名、北陽中1名 合計3名
- (5) 通級加配：桂城小2名、釈迦内小1名、扇田小1名、第一中1名 合計5名
- (6) 小学校日本語支援加配：有浦小1名
- (7) 小学校専科加配：
桂城小 **0.5**名、城南小1名、城西小 **0.5**名、有浦小 **1**名、長木小 **0.5**名 合計4名
- (8) 小規模校加配：花岡小1名
- (9) 教育専門監：桂城小1名、第一中1名 合計2名
- (10) 少人数学習推進加配：第一中1名、東中1名 合計2名
- (11) 複式支援加配：早口小 **0.5**名
- (12) 事務職員加配・共同実施に関する加配：有浦小1名、第一中1名 合計2名

5 その他

- (1) 教育支援員（52名）小学校45名 中学校6名 おおとり教室1名（前年比±0）
- (2) 小学校英語教育推進アドバイザー1名
- (3) ALT5名（前年比±1） 外国語活動支援員10名（前年比±0）
- (4) 部活動指導員 11名（前年比+3）

(6) 大館市の小・中学校教育の指針

(R6年度)

推進目標 ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化

本年度の指導の重点

1 ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める

- (1) 大館の未来を切り拓くための総合的人間力（「人間的基礎力」「大館市民基礎力」「大館市民実践力」）の育成
- (2) 基本的な生活習慣を身に付け、自律した行動ができる児童生徒の育成
- (3) 基本的な学習習慣の確立と学ぶことの意義の浸透
- (4) 児童生徒一人一人が自己肯定感・有用感をもって生活できる集団づくり
- (5) 運動の習慣化、日常化の確立と充実した食育による健康の保持増進
- (6) いじめ・不登校問題の予防及びその克服のための支援体制の充実
- (7) 全教職員と関係機関のネットワークで支援する特別支援教育の推進
- (8) 「主体的実践力」強化の観点から、ふるさとキャリア教育を進化・深化

2 大館教育を起点として、社会、全国、世界との架け橋を構築する

- (1) 教育ツーリズムによる「本質を追い求める教員が集う街」の実現
- (2) ふるさとの価値を多面的かつ広域的に捉える機会の充実

3 学校と地域が織りなす教育活動の充実を図る

- (1) 就学前教育及び中等・高等教育とのつながりを重視した「教育の縦の基軸」の強化
- (2) 地域住民や民間企業等との連携等「教育の横の基軸」を生かしたスクール・コミュニティの形成

4 児童・生徒が教育パートナーとして支え合い、「おおだて型授業（響学）」の質を更に高める

- (1) 児童・生徒主体で、進行・展開していく「おおだて型授業（響学）」の推進
- (2) 各校の研究実践を県内外に発信・交流することによる評価及び改善
- (3) 幼保・小・中・高・大連携や学校間交流による実践研究
- (4) 地域の学習材等、教育資源を活用した授業や教育活動の開発
- (5) 教育専門監、授業マイスター等を活用した実践的研修の活性化
- (6) 「おおだて型授業（響学）」の実効性を高めるツールとして、ICTを効果的に活用

5 学習指導要領に対応した教育環境や基盤の整備を推進する

- (1) 未来大館市民としての資質・能力を育成するための体制の構築
- (2) 学校と行政の連携により、個性や特性が発揮できる教育環境や教職員の職場環境の整備

報 告 事 項	報 告 内 容
(7) 学校運営協議会委員の委嘱について	大館市立小中学校の学校運営協議会委員について、関係機関の人事異動、役員改選等に伴い次のとおり変更が生じ、前任者の残任期間を委嘱しましたので報告します。
(8) 大館市立学校医・学校薬剤師の任命について	大館市立学校医・学校薬剤師を任命しましたので報告します。

報 告 事 項	報 告 内 容
（９）大館市社会教育委員の委嘱について	大館市社会教育委員は、関係団体等からの推薦により教育長が委嘱しています。この度、大館市教頭会から推薦があり、追加で委嘱しましたので報告します。
（１０）大館市少年相談センター運営協議会委員の委嘱について	大館市少年センター運営協議会委員は、関係団体等からの推薦により大館市長が委嘱しています。この度、大館市小・中学校ＰＴＡ連絡協議会及び大館市小・中学校生徒指導協議会から推薦があり追加で委嘱しましたので報告します。
（１１）「NHKのど自慢」の開催について	７５年以上の歴史を持つ長寿番組「NHKのど自慢」が、本市を会場に開催されることが決定しました。 のど自慢の開催は平成２９年以來７年ぶりで、今回が４回目となります。 前は出場希望２５０組、観覧希望には約７，０００人の応募があり、番組の冒頭で大館の特産品として、大館曲げわっぱやきりたんぽが紹介されたほか、秋田犬のふるさと「おおだて」を全国にＰＲすることができました。 今回もこの番組を通じて、全国に大館の魅力を発信してまいります。 １．主催 NHK・大館市 ２．開催日 令和６年１２月８日（日） ３．会場 ほくしか鹿鳴ホール（大ホール） ４．申し込みの詳細 開催日のおよそ２か月前からNHK放送局秋田支局にて案内開始予定 ※市広報おおだて及び地元紙にて周知します。

議 事 の 経 過	
	開会 午後3時30分
教育長	ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と根田委員にお願いします。 会議録について、いかがだったでしょうか。 （「異議なし」の声あり） それでは、承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項（1）から（4）までをお願いします。
各課長	（「（1）令和5年度の教育委員会ホームページのアクセス件数について」 「（2）小・中学校における改修工事・修繕等の実施状況について」 「（3）南種子町青少年交流事業について」 「（4）中学生海外研修（in New Zealand）について」 を、資料により報告）
教育長	ご質問等ございませんか。
委員	お礼を申し上げます。私の娘が中学生海外研修にご一緒させていただきました。 まず、事前研修学習会から参観をさせていただいたのですが、彼ら16人が、あっという間に1つのクラス、学級みたいになり、団結力とか、お互いを思いやるとか、すごい集団になったなど感激しました。 帰ってきてからいろいろプレゼンテーションを受けたのですが、その内容が盛りだくさんで印象的でした。 教育長から「南十字星を見てこい」と夢を託され、天候があまりすぐれなかったようでなかなか見るチャンスがなかったようなのですが、うちの娘はファームステイ先が直前で変わってしまったことで南十字星が見られたそうで、いい体験をさせてもらったと、教育長に言われたことやってきたよと言っていました。 そのほかに、北東の一番大きな場所、オークランドにニュージーランドの博物館があるそうで、何時間か滞在させてもらったのですが、そこには、太平洋戦争中のいろいろな遺品やニュージーランドに置かれていた零戦、ミズーリ号での降伏文書など、太平洋戦争で日本が関わる史跡といった資料もほぼ無傷で置かれたものも見ることができて、かつ、戦勝国の視点からのその戦争の捉え方についても勉強になったと言っていました。 そういう意味でも、海外に行ってその海外の文化に触れることの他に海外から日本を見るということを体験できたことは、彼らにとっていい経験だと思いました。

教育長	最後に、一昨日の市長報告会で、皆さんいいスピーチだったと思いました。福原市長からのいろいろなお話を聞いて、これから先の彼ら一人ひとりの将来に、福原市長の世界情勢や大館を大切に思う心から、いろいろなことが彼らの心に刻まれて、叶えられていくのだと、私も同席していて非常に嬉しく思いました。 南十字星の話をしましたが、本当に私の夢だったのです。それを2人の子が叶えてくれたというのはすごく嬉しくて、自分で見たような感じさえしました。よかったです。
委員	子どもたちは本当に貴重な体験をして、それがまた大館市のためにもなると思いますし、何よりも事前学習が親と子の学習にもなる、その親と子が改めていろいろなことを考える良いきっかけになったのではないかと思います。 いい体験ができたことに対して、親に対する感謝、また学校の先生方に対する感謝、いろんな感謝の気持ちを持って今後も勉強に励むことと思いました。とても素晴らしい体験ができた子どもたち、うらやましいと思ってお話を聞かせていただきました。これからの楽しみです。 あと、(3)についてですが、いろいろな地域の伝統文化を共有して、新たな自分たちの地域の文化を見極めて成長するということにもつながりますし、続いてほしいと願うところです。
委員	(2)の令和6年度工事計画一覧の中で、コンデンサ他取替工事が7件記載されています。このコンデンサは、今年度は定期的に取り換えの時期に当たるから実施するのかどうか、また何に使っているのか教えていただけるとありがたいです。
教育次長	高圧受電している関係で、学校への電気を取り込む設備にコンデンサがあります。 交換は、年次計画で行っているものですが、今回は令和9年にPCBの処理期限が迫っていることから、含有の可能性があるコンデンサを交換するものです。またコンデンサは高圧受電設備の動力を動かすときの電力低下を防ぐために使用しています。
委員	同じく(2)についてですが、令和6年度工事計画一覧のNo.3城南小学校の「南側ベランダ軒先飛散防止ネット取付工事」とあるのですが、飛散防止というのは、具体的に何が飛散するのを防止するのでしょうか。城南小学校で以前に北側玄関の上から何か落ちてきたということもありましたので、これは具体的にどういうものでしょうか。
教育総務課長補佐	南側ベランダ外壁のモルタルが剥落しており、それを防止するため、飛散防止ネットを取り付けるというものです。

委員	予算のことだと思うのですが、飛散してくるものを根本的に解決するというのはネットを取り付けるよりも莫大な工事費がかかってしまうという理解でよろしいでしょうか。
教育次長	ちなみに、城南小学校でいいますと北側の方、昇降口の上を2年前に弱いところは全部打ち替えております。 今回は南側で、飛散防止ネットを張るという対策を取らせてもらいました。
教育長	ほかはございませんか。 ないようですので、(5)(6)について続けて説明願います。
学校教育課長	(「(5) 令和6年度大館市立小・中学校の概要について」 「(6) 小・中学校における改修工事・修繕等の実施状況について」 を、資料により報告)
教育長	これらについてご質問等ありましたらお願いします。
委員	(5)について、もう少し詳しくお伺いしたいと思います。 4の教職員等の加配について、昨年度と加配の状況が変わったところがあればお知らせいただきたいのと、何項目か0.5人という記載があるのですが、この0.5人の意味、例えば午前、午後を週で分けるなどということなのか詳しくお聞かせいただければと思います。
教育監	加配の全体の規模について、昨年度との比較では変わっていません。その中の細かいところでは、指導方法工夫改善の加配と、小学校専科の加配の増減が1ずつあります。 指導方法工夫改善の加配が昨年度と比べてマイナス1、小学校専科加配が昨年度に比べてプラス1となっております。 国の方針として、小学校専科加配を拡充していくという方針が示されておりますので、そこについては今後も拡充していくのだろうかと私たちも予想していますが、一方でその拡充の予算が単純に増えていくものなのか、何かの加配を減らして小学校選択加配を増やしていくという戦略なのか、そこはちょっとこの先国の動向を見ないとわからないところではありますが、今年の動きを見ると、これまであった加配を減らして小学校専科加配を増やしたという実態が少し見えたかなというところではあります。 それから、0.5の意味ですが、これはかつては0.5という考え方は全くありませんでした。いつからかという、定年退職した教職員を再任用し、短時間勤務を希望した場合、つまりフルタイムではなく時間限定で勤務したいと希望した職員が出た場合に0.5という概念が生まれたという経緯がございます。 したがって基本的に0.5については、再任用教員の短時間勤務を指して

	いるのですが、例外的に1人のフルタイムの教員が指導方法工夫改善の時間を半分、小学校専科の時間を半分という考え方で運用しているケースもあります。
委員	よくわかりました。
教育長	ほかにございませんか。 それでは（7）から（10）まで説明願います。
各課長	（「（7）学校運営協議会委員の委嘱について」 「（8）大館市立学校医・学校薬剤師の任命について」 「（9）大館市社会教育委員の委嘱について」 「（10）大館市少年相談センター運営協議会委員の委嘱について」 「（11）「NHKのど自慢」の開催について」 を、資料により報告）
教育長	何かご質問等ありましたらお願いいたします。 ないようですので、議事に入ります。説明をお願いします。
各課長	（「協議第21号 令和6年度6月補正歳出予算要求の概要について」 を資料により説明）
教育長	ご意見、ご質問はございませんか。
委員	トイレコーティングの件で、もしかするとこの事業は前にもありましたでしょうか。
学校教育課長	昨年度、上川沿小学校と東中学校で行いました。 この事業をやることによって数年の効果、臭気なども軽減されるということで、今年度は城西小学校と北陽中学校で行いました。 洋式化のトイレになった新しい便器について、年次計画と整合性をとりながら進めております。
委員	来年も再来年も引き続きトイレの洋式化と合わせてやっていかれるということでしょうか。
学校教育課長	トイレの洋式化工事が、来年度以降の計画は未定です。実際に上川沿小学校と東中学校で評判がとても良かったので、今年度は城西小学校と北陽中学校で行い、評価がよければできるだけ進めていければと考えています。
委員	トイレの洋式化なども新型コロナウイルスに絡む、国からの補助などが大きな財源だったように記憶しているのですが、トイレの洋式化の今後を含め

教育次長	て、方針があればお聞かせいただきたいと思います。 現在トイレの洋式化率は約7割近くが各学校に整備されました。 できればもう少し進めていきたいと思っておりますので、今後継続して洋式化工事は少しずつでもやっていく予定ではありますが、他の工事との予算の兼ね合いで、今年度は一旦ストップした経緯がございます。 それでもまた来年度は、新たに要求はしていく予定です。なおその財源につきましては、確かに新型コロナウイルスのときの臨時交付金を財源に始まった経緯もありますが、文部科学省の中に「学校環境改善交付金」という継続した交付金がありまして、これは当分続いていきますので、それを財源にして工事を進めていきたいと思っております。
委員	中学校の学校管理費について教えてください。 部活動の指導員の謝金についてですが、なかなか指導員の確保も大変だということでした。ただ先ほどの説明で、昨年度より3人増えているのは良かったと思っています。実際に、この謝金はどの程度で1人に支払われているのか教えてください。
学校教育課長	平日の部活動には、部活動指導員の配置事業というのがありまして、中学校の運動部8人と文化部3人の計11人となります。 今回予算にあげているのは、休日、土日祝日の部活動の地域移行の推進に係る事業です。 部活動指導者の時給は、1,600円としております。 ただし、文化部の県中央部から招いてくる指揮経験のある方につきましては、5,000円程度でお願いしています。
委員	時給1,600円が高いか低いかというのは基準がよくわかりませんが、やはりボランティアの部分も非常に大きいと思います。子どもさんたちを預かるという責任や物心両面の負担等もあると思うので、できる限りの範囲内で配慮していただければと思っています。
教育長	これが全面的に地域移行になったときは、この人数ではとても間に合わない人数で、その方々への報酬の財源をどうするのかというのが大きな課題だと思います。 実態としては、小学校のスポーツ少年団と同じような形、類似の形になるわけですが、それが中学校には報酬を出して、小学校のスボ少には出さないのかという論議も起こってくると思います。そうするとますます財源がどうなるのかというのは、大変大きな課題だと考えております。 ほかにはございませんか。よろしければ、6月補正歳出予算要求の対応について承認という形で進めさせていただきます。 それでは、「その他」に入ります。

教育次長	(「政策協議について」口頭説明)
各課長	(「各課の政策協議について」口頭報告)
教育長	ご質問等ございませんか。
委員	昨年もこの話を聞いてお話をさせていたような気がします、こういった政策協議の資料をお出しいただけることに感謝したいと思っています。また市長からのメッセージも頂戴できたことは非常に励みになりますので、これまたよかったなと思っています。 その中で、実はこの教育総務課にも鳥潟会館ございます、もちろん歴史文化課にも鳥潟会館がありまして、私が一番心がけていただきたいと思うのは、各課がそのワンチームとして、大館の文化歴史をこれから練り上げていくのだということと、さらに環境を充実したものにしていけるのだという方向性に基づいて、ワンチームとして動いていただけるとなるといいと思っています。皆さんの今後の活躍を期待します。 また、先ほど教育長からもお話あったように、部活動指導者の確保について非常に難儀するであろうなと思っていますので、いろんな意味で民間の力を活用していくというような方向を柔軟に考えていく必要があるのかなと思っています。会社の経営者の方々も含めながら、商工会議所にも協力することでもありますので、ぜひそういう力を十分生かしながらやっていただけるといいと思っています。
委員	歴史文化課にお尋ねいたします。「3Dデータの記録保存と活用」とありますが、これは一般の方々に貸し出しできるとかインターネットで閲覧できるというと思うのですが、いかがでしょうか。
歴史文化課長	さまざまな方法がありますけれども、まずは3Dデータ化しましてコンテンツを作って、そちらをホームページ等でご覧いただきたいと考えています。 県のミュージアム強化ネットワーク会議でもそのときお話があったのですが、やはりデータのオープン化が重要であり、著作権を盾にそれを活用できないと意味がないということでございました。利用者が2次利用できるようなオープンデータ化を目指すようにという指示もありまして、今の時代は当然SNS等で体験された方が今度発信していくということでございますので、そこまでにらんでデータをオープンなものにしたいと今は考えております。
委員	わかりました。関心を持っている方も市内にはたくさんいらっしゃると思います。特に大館の方々、こういう文化に対して最近に関心を持つ方が増えたと思います。歴史文化課でも市民の皆さんに応えられるようにお願いしたいと思います。

教育長	政策協議についてはこれで終了いたします。他にございますか。
教育総務課長	(「来月の開催日程」について)
教育長	それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。
	会議終了時刻 午後5時00分